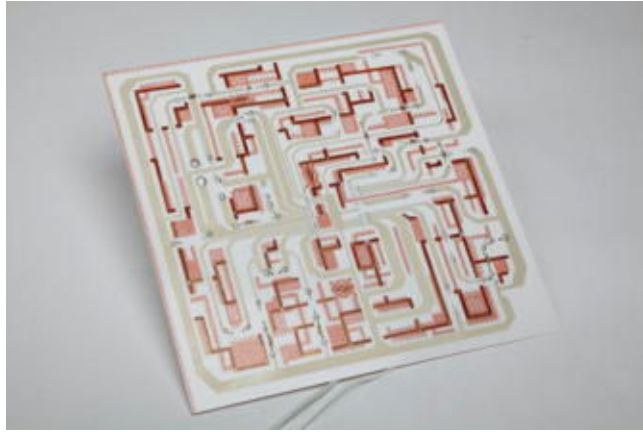


※出品作品の写真



©JUNICHI TAKAHASHI/TAKE ACTION FOUNDATION

セラミックスピーカー 秋元雄史×見附正康×佐藤オオキ



©JUNICHI TAKAHASHI/TAKE ACTION FOUNDATION

白器香炉 金子賢治×和田 的×佐藤 卓



©JUNICHI TAKAHASHI/TAKE ACTION FOUNDATION

光 器 藤原ヒロシ×新里明士×宮島達男



©SADAHO NAITO/TAKE ACTION FOUNDATION

友駄珍鍋 中田英寿×植葉香澄×奈良美智



©JUNICHI TAKAHASHI/TAKE ACTION FOUNDATION

くじり三指組 久侶於里辺「うつけ」(左), 「愛してる」(右)

松岡正剛×林 恭助×町田 康

※ 写真のデータはホームページ上からお使いください。  
写真掲載する際には、クレジット ©JUNICHI TAKAHASHI/TAKE ACTION FOUNDATION を併記してください。コラボレーション5の作品のみ、© SADAHO NAITO/TAKE ACTION FOUNDATIONと記載してください。

プレス・リリース  
PRESS RELEASE

特別展  
”REVALUE NIPPON PROJECT”  
— 中田英寿、現代陶芸と出会う —

平成23年 2月23日(水)～3月13日(日)  
※最終日は午後3時まで



©SADAHO NAITO/TAKE ACTION FOUNDATION



©JUNICHI TAKAHASHI

茨城県陶芸美術館  
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)  
TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012  
<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

## 1 展覧会名

# 特別展 ” REVALUE NIPPON PROJECT ” — 中田英寿、現代陶芸と出会う —

## 2 開催趣旨

### A：一言でいうと(130字)

REVALUE NIPPON PROJECTは、日本の伝統文化をより多くの人に知ってもらうきっかけをつくり、文化の継承・発展を促したいという中田英寿氏の思いから生まれました。今、最も注目を浴びる若手陶芸家とクリエイターによる5組のコラボレーション作品を紹介します。

### B：もう少し丁寧にいうと(231字)

元プロサッカー選手の中田英寿氏が代表を務める(財)TAKE ACTION FOUNDATIONが立ち上げたREVALUE NIPPON PROJECT。その目的は、日本の伝統文化をより多くの人に知ってもらう「きっかけ」をつくり、文化の継承・発展を促すことにあります。このプロジェクトにより、現在最も注目を浴びる若手陶芸家とクリエイターによる5組の素晴らしいコラボレーションが誕生しました。その成果として伝統的な技術と現代アートの融合による新たな陶磁器の魅力を紹介いたします。

### C：詳細にいうと(488字)

” REVALUE NIPPON PROJECT ” は、元プロサッカー選手の中田英寿氏が代表理事を務める(財)TAKE ACTION FOUNDATIONが、日本の伝統文化をより多くの人に知ってもらう「きっかけ」をつくり、新たな価値を見出すことで伝統文化の継承・発展を促すことを目的として、2009年に立ち上げたプロジェクトです。

このプロジェクトに込められた中田氏の思いは、開館当初から一貫して『伝統工芸と新しい造形美術』をテーマにより多くの人々に工芸美術のすばらしさを紹介することを主な目的としてきた茨城県陶芸美術館の運営趣旨と相通じるものです。

当プロジェクトにおける2010年度のテーマは「陶磁器」。その取り組みのひとつの形として、現在最も注目を浴びる国内屈指の若手陶芸家と国内外で活躍するクリエイターによる、5組の素晴らしいコラボレーションが実現しました。

本展では、その成果を各アーティストの参考作品と合わせて約60点により紹介します。陶磁器ファンのみならず、日頃、伝統工芸に触れる機会の少ない方も、世界に誇る日本の伝統的な技術と現代アートの融合による新たな魅力をお楽しみください。

## 3 展示構成 (出品作家・クリエイター)

COLLABORATION 1	秋元雄史(金沢21世紀美術館館長) × 見附正康(陶芸家) × 佐藤オオキ(デザイナー)
COLLABORATION 2	金子賢治(茨城県陶芸美術館館長) × 和田 的(陶芸家) × 佐藤 卓(グラフィックデザイナー)
COLLABORATION 3	藤原ヒロシ(音楽プロデューサー) × 新里明士(陶芸家) × 宮島達男(現代アーティスト)
COLLABORATION 4	松岡正剛(編集工学研究所所長) × 林 恭助(陶芸家) × 町田 康(パンクロック歌手、小説家)
COLLABORATION 5	中田英寿(TAKE ACTION FOUNDATION代表理事) × 植葉香澄(陶芸家) × 奈良美智(現代アーティスト)

## 4 主催等

主 催：茨城県陶芸美術館

共 催：一般財団法人 TAKE ACTION FOUNDATION

協 賛：関彰商事株式会社

後 援：笠間市、笠間市教育委員会、笠間観光協会茨城新聞社、(財)茨城県サッカー協会

協 力：株式会社 三越

## 5 会期

平成23年2月23日(水) - 3月13日(日) ※最終日は午後3時まで 17日間

## 6 開館時間

午前9時30分から午後5時まで(入場は午後4時30分まで)※最終日は午後3時まで

## 7 休館日

月曜日(2/28, 3/7)

## 8 会場

茨城県陶芸美術館 2階 県民ギャラリー

## 9 観覧料

本展のみは無料

※同時開催企画展「古陶の譜 中世のやきもの一六古窯とその周辺」は

一般700(550)円 高大生500(400)円 小中生250(200)円

( )内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳・療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方(ただし1人につき1人まで)は無料。

## 10 関連行事

○対 談&アーティストトーク

日 時：2月27日(日) 午後1時30分から午後3時30分まで(予定)

講 師：和田 的氏(陶芸家)

聞き手：金子 賢治(茨城県陶芸美術館館長)

場 所：当館1階多目的ホール(入場無料)先着150名 ※当日、整理券を発行いたします。

内 容：特別展「REVALUE NIPPON PROJECT—中田英寿、現代陶芸と出会う—」関連企画として開催。このプロジェクトに参加して作品の制作に当たった際のエピソードなどをお話しいたします。

## 11 連絡先

茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)

TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

展覧会担当 学芸課 主任学芸主事 栗田 健史(くりた・たけし)

E-Mail kurita.takesi@post.ibk.ed.jp

広報担当 企画管理課 主任学芸主事 栗原 信雄(くりはら・のぶお)

E-Mail kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

## 12 ホームページ

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

※図版使用に際しての注意

- 展覧会の紹介記事への使用に関して、著作権の使用許諾の申請は当館で処理済みです。
- 作品キャプションを表記のとおり入れてください。
- 展覧会の紹介を主たる目的とする内容にのみご使用いただき、他の目的を主とする記事等へのご使用はご遠慮ください。
- 図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工はご遠慮ください。
- 図版は、データで準備しております。当館、企画管理課 栗原までご連絡ください。  
(mail:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp)
- 校正紙をお送りください。